

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを とともに生きよう感謝の心で



# 学校だより

## 5月号

横浜市立谷本小学校  
令和5年4月28日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



## 二宮金次郎像

校長 高橋 哲雄

谷本小学校の長い歴史を物語るものの一つに、下校庭にある二宮金次郎像があります。最近では小学校でも見かけることも少なくなりました。調べてみたところ、神奈川県土地家屋調査士会の「神奈川県二宮金次郎像特集『金次郎MAP』』というものがあり、それによると、二宮金次郎像は横浜市立小学校340校中37校、青葉区では30校中3校に設置されているそうです。青葉区で設置されているのは、鉄小学校、山内小学校、そして谷本小学校です。

本校の像の台座を見てもみますと、「二宮尊徳先生八十年祭記念」と書かれています。これは、昭和10年(1935年)にあったようです。ということは、この像は今から88年前に建てられたということになります。推測にはなりますが、当時の地域の方々が、谷本小学校の子どもたちに「こう生きてほしい」「こういう人になってほしい」という思いを込めて建てられたものではないかと思えます。地域や家庭と学校が一体となって、子どもたちを教育していこうという思いを感じます。



台座は欠けてしまっていますが、「勤儉力行(きんけんりっこう)」という言葉が書かれています。勤儉力行とは、仕事に励み、つつましやかにし、精一杯努力するという意味です。これまで子どもたちは、コロナ禍もあり、不安を感じたり、我慢をしなければいけなかったりすることが多かったと思います。もしかしたら二宮金次郎が生きた時代と共通する部分があるかもしれません。そんな時だからこそ、これからしっかりと前を向いていってほしいと願っています。



昭和10年 二宮金次郎像 除幕式

右の写真は、創立130周年の時に発行された「杜の学び舎」という冊子に入っていた写真です。当時は下校庭に木造の校舎があり、その横に二宮金次郎像があったそうです。子どもたちは、朝学校に来ると金次郎像にお辞儀をしてから教室に入り、帰りも二宮先生にお辞儀をして帰ったものだそうです。